

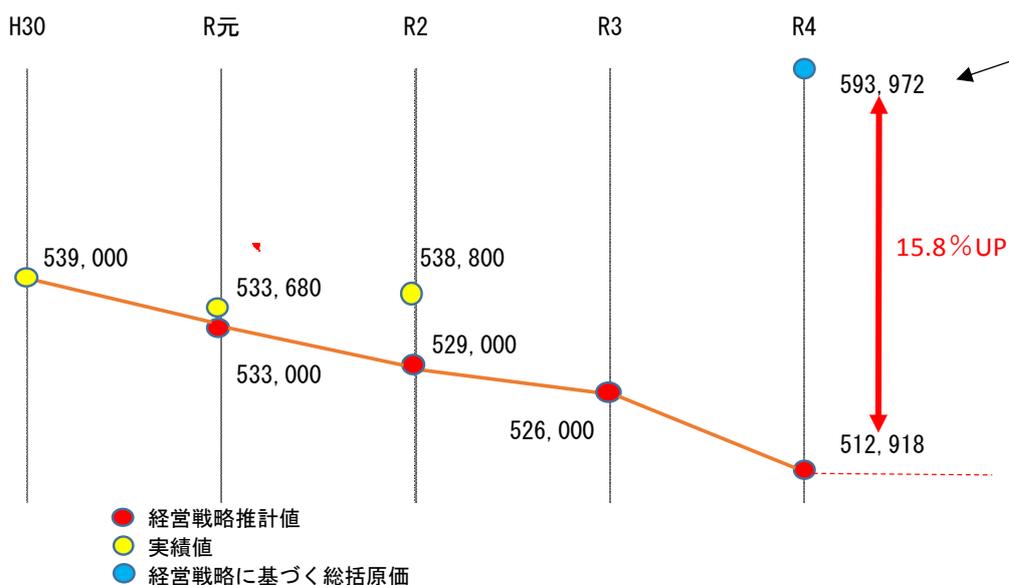
表1 総括原価の算定結果

(単位：千円)

費用		R4	R5	R6	R7	R8	平均	備考	
営業費用	維持管理費	原浄水	181,290	181,395	181,254	181,220	181,231	—	財政計画算定値
		配給水	62,645	62,691	62,738	62,785	62,832	—	財政計画算定値
		一般管理	97,863	98,228	98,591	98,956	99,319	—	財政計画算定値
	減価償却費	451,408	420,046	417,774	413,723	411,078	—	財政計画算定値	
	資産減耗費	12,818	12,818	12,818	12,818	12,818	—	財政計画算定値	
合計		806,024	775,178	773,175	769,502	767,278	—	上記合計	
資本費用	支払利息	65,335	62,648	62,653	61,125	59,374	—	財政計画算定値	
	資産維持費	76,215	76,215	76,215	76,215	76,215	—	対象資産の0.6%	
	合計	141,550	138,863	138,868	137,340	135,589	—	上記合計	
控除項目		50,877	49,556	48,444	47,046	45,603	—	財政計画算定値	
控除項目（長期前受金）		304,243	278,753	268,929	262,778	257,279	—	財政計画算定値	
総計		592,454	585,732	594,670	597,018	599,985	593,972	594百万円	

算定の結果、事業統合以降の5年間の総括原価の平均は593,972千円となった。

料金収入の予測



○料金の改定率（事務局試算15.8%）について

- ①上水道と簡易水道が事業統合し、料金を統一する場合の料金水準を試算するため、まず、統合後に必要な総括原価を試算した。
算定の結果、総括原価は593,972千円となった。
- ②総括原価を賄うだけの給水収益が確保できれば、算定期間中の健全経営が可能となるため、令和4年度の水道料金の見込み（512,918千円）をもとに、15.8%の改定率を導き出した。
- ③15.8%の料金引上げのみでは算定期間5年間の健全財政は可能だが、令和11年度時点の資金残高5億円という目標の達成が困難であるため、企業債を毎年、6,250万円追加発行することで現金支出を抑え資金残高を確保することとした。（企業債の追加発行を行わず料金をさらに引き上げて資金を確保しようとした場合の改定率は28%程度）
企業債を追加発行することについて、追加発行をしない場合は令和5年度をピークに減少する見込みであったものが、高位で概ね横ばいで推移することとなるが、経営上やむをえないと判断した。

○料金改定（15.8%）と企業債の追加発行をした場合の収支見通し

（単位：千円）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
収益	949,181	920,504	904,597	893,498	883,533	876,222	871,121	862,265
（うち給水収益）	594,061	592,195	587,224	583,674	580,651	579,473	574,866	572,105
費用	871,695	838,162	836,164	830,963	826,988	820,384	823,754	830,499
収支差額	77,486	82,342	68,433	62,535	56,545	55,838	47,367	31,766
資金残高	1,143,830	1,003,639	955,910	862,144	787,609	733,309	579,890	<u>527,518</u>
（参考） 企業債残高	4,391,794	4,585,173	4,606,325	4,572,188	4,387,091	4,294,572	4,471,929	4,292,858

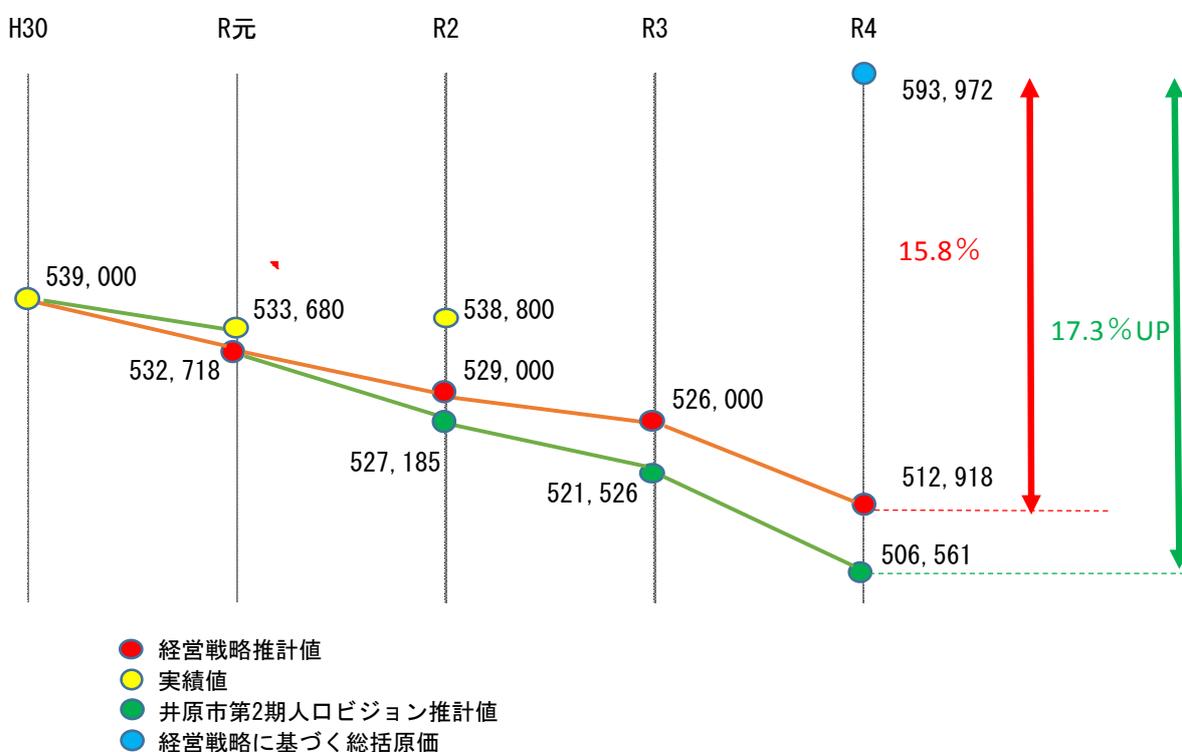
■第2期人口ビジョン（R3.3）の人口推計を用いた検証

○経営戦略の給水人口推計

	H30(実績)	R2	R5	R8	R11	R2→R11
第1期人口ビジョン（井原市推計）	39,761	38,923	38,131	37,385	36,737	△5.6%
第2期人口ビジョン（井原市推計）	39,761	38,781	37,295	35,908	34,657	△10.6%
第2期人口ビジョン（社人研）	39,761	38,781	37,206	35,654	34,145	△12.0%
経営戦略（給水人口予測）	31,029	30,375	29,757	29,175	28,669	△5.6%
給水人口（第2期人口ビジョン市推計）	31,029	30,264	29,105	28,022	27,046	△10.6%
給水人口（第2期人口ビジョン社人研）	31,029	30,264	29,035	27,824	26,646	△12.0%

料金収入の予測

事業統合



○第2期人口ビジョンの井原市推計をもとに改定率を試算すると17.3%となった。

（第2期人口ビジョンの社人研の推計値を用いると改定率は17.4%）

さらに、企業債の追加発行（6,250万円/年）を600万円程度上乗せする必要がある。

○先に示した15.8%の改定率のままだと、令和11年度時点の資金残高は3億9,500万円（目標5億円）